

9

SEP 2023  
VOL.167

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

# ishin-déshin

水野印刷工芸  
社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

みかわんこ▶

Let's コミュニケート！  
まだまだ暑いですね

きおく画伯  
犬だとしても…

社長と行こう！こっそり食堂  
蒲郡の京都

特集

## 罵るながれ、「キサマ オマエ」

もみじ寺  
普門寺へ  
ようこそ



## 特集

# 罵るなから 「キサマ・ オマエ」

本来とは違う意味で  
使われてしまった言葉達

## 貴様

中世末から近世初期頃に武家の書簡で用いられており、文字通り「あなた様」の意味で、敬意をもって使われていました。

江戸に入ると遊女が客に対して使うなど、敬意の度合いが下がっていきます。

時代は進み、近代日本軍の中で士官が部下を呼ぶ際や、士官どうしで呼び合う際に用いられました。それからだんだんと敬意の意味合いが薄れ、むしろ罵る際に使う言葉として現在は定着しています。

## 御前

おまえ、みまえ、ごぜん、おんまえと読める御前。高貴な女性をあらわす「ごぜん」であったり、神仏・貴人の前をあらわす「おまえ、みまえ」であったりと、敬いの意味合いが強い言葉でした。江戸時代中期以降から変化しあり、上位の者から同等または下位のものへ使う言葉へと変化してきました。

## 諦める

本来は仏教用語であり、物事を明らかにし、ありのままを見るという意味です。一般に言われるには断念することで、ネガティブな意味合いが強いですが、本来は断念に至るまでの過程を分析、深く反省し次に生かしていくポジティブな言葉なのです。すなわち、諦めるは“明らかめて本質を見る”也。

## 他力本願

他人任せ、無責任など、あまり良い意味で使われない言葉ですが、こちらは浄土真宗の開祖 親鸞上人により示されました。本来の意味は阿弥陀仏の本願（誓願・約束）により往生することです。これに対し禅宗など自身の座禅修行などで悟りを開くことを自力本願と表されます。

## 破天荒

破天荒な人と言えば、豪快で荒っぽい、大胆と言った意味合いで使われますが、本来は誰も成し得なかったことをする意味。中国宋の時代の故事にちなみます。科挙合格者が100年以上いなかった荊州という場所を天荒（未開の地）と呼んでいたそうです。ある年ついに科挙の合格者が出て、天荒が破られました。このことを破天荒と言ったそうです。

## オイコラ

叱る、怒る、等強く注意をするイメージの言葉ですが、元々は薩摩の方言で、「ちょっとあなた（君）」と相手を呼び止める言葉で、相手を威圧するような意味合はないそうです。明治時代の警察官は薩摩出身者が多く、聞き慣れない「オイコラ」を横柄なイメージと誤解されて広まってしまったそうです。

## 姑息

姑息な奴め…、等卑怯で狡猾なイメージを持つ言葉。正しい意味は「一時しのぎ」。中国の孔子にまつわる故事が由来です。姑（しばらく）息（いき）をつくと書くことから一時的にその場を切り抜けようとするのを表しています。ものごとに正面から取り組まず一時しのぎで済ませるようなことは、「卑怯」であるという考え方から、現在の誤用された意味合いに近づいていったと考えられるそうです。

## 割愛

重要な箇所なので割愛する、など不要な部分を省略するという使われ方をする言葉ですが、本来の意味は、惜しみつつも泣く泣く手放すということです。これは仏教用語であり、愛着のある人や物など、自身の執着を断ち切ること。文字通り愛を割るほどの気持ちで手放すことです。ちなみに同じ読みの「渴愛（かつあい）」も仏教用語で激しい執着心を持つという意味だそうです。

本来の意味と現代の一般的な意味が大きく変わっている言葉、探してみるとまだたくさんあります。最近では「ヤバい」が若者言葉では良い意味で使われたりします。良い意味が悪い意味になったり、その逆もあったりと時代毎に言葉は絶えず変化しているようです。映画パックトゥーザフューチャーの劇中でもマーティが口癖のように「heavy」と言うと過去の時代のドクには通じず「重さは関係ない」と言われるような時代ごとの言葉のズレ。

10年後、30年後、はたまた100年後はどのように意味が変わってくるのか、言葉の変遷って実際に興味深い。（文責：山本）

# ミデコラム

今月のにわか編集長  
山本 兼佑

にわか編集長とは!?

ishin-denshin の編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、  
それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!

YAMAMOTO KENSUKE  
**KEN**  
BUN ROCK

第134回

## 長谷寺へ馳せ参ず 後編

そうこうしているうちに受付時間。仁王門を抜け風鈴に飾られた心地良い音を奏でる大回廊を登り本堂にて受付。受付後、堂内にて輪袈裟と経本、五色線を賜り、青年僧から一通りの説明を受け、勤行に臨みました。多くの僧侶が堂内に入り、読経が始まりました。若い僧侶が多く、その熱量に圧倒。錫杖に合わせかなり早いテンポで経が進んでいき、経本を目で追うのも必死。無心にくいついていきます。長い教本がみるみるうちにめくられていき、太鼓も叩かれはじめ読経の熱量はさらにヒートアップ。大声で小刻みに唱えられる読経と太鼓の胸を打つ低音がだんだんと心地よくなり、不思議な心地、トランクス状態とでも言うのでしょうか。えも言われぬ心のたかぶり。青年僧の持つエネルギーと1,300年超の伝統、篤い信仰心… 様々な要素が絡み合い唯一無二であろう空間がそこにありました。般若心経など親しみある経は少し口ずさんでみると、堂内の一体感すら感じと



れました。最後に僧侶が参加者の前に一同に並び挨拶をされましたが、想像を超える大声と気迫に言葉を失い挨拶を返すことができませんでした。(他の参加者も同様なのか声が聞こえません…)時間にして1時間ない程でしたが、満足感は相当のもの。これを毎日欠かさず行っていることに驚かされた次第です。

その後、本尊十一面觀世音菩薩(観音様)の拝観券を購入したので、観音様の御御足に触れながら祈らせいただきました。真下から観音様を見上げると10mを越す丈の迫力がよく分かります。

勤行の途中から参加者ではない一般参拝者の高齢女性が本尊前で長い時間手を合わせ、頭を深く垂れて祈られておりました。横顔からも優しい笑みが漏れ、心からの篤い信仰心を感じさせられました。一心に信じることの尊さがそこにはあったのです。

その後は安倍文殊院、飛鳥資料館、岡寺、飛鳥寺を訪れました。途中天極堂テラスで食べた吉野本葛を使った吉野うどん。葛のとろみと素朴な味わいが大変美味でございました。セットの葛餅がまた品のある甘みで飛鳥の自然を眺めながら食せばまさに絶品。

このエリアの寺院は神仏融合で長谷寺の観音様の脇侍に春日大社祭神や天照大神が祀られていたりと古き時代の日本仏教を見る事ができます。また、観音様の御御足や三鈷杵、御仏の手形など触りながら祈願



できるような場所が多くあり、仏教の地域性を感じることもできました。ぜひ、機会があれば奈良飛鳥仏教に触れてみてくださいね。

### にわか編集長コメント

煩惱具足の凡夫な自分ですが、たまに朝のお勤めに参加することで、多少なりとも煩惱が中和されているような気がします。



第133回

## 大切なものの

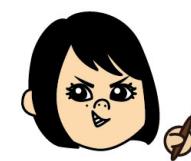
関東大震災から100年目ということでテレビなど今年は例年なく放送されている。映像の中には大八車で布団や家財などを積み込み逃げる人々の姿が。

私が小学高学年のころ(半世紀前?)なのだが、家の近所で火事があった。私はその日、学校の窓から見える火事の様子を見ながら、「なんか、家の方だなあ」と思っていた。しかしその日は初めての鼓笛隊の練習ということで家の様子を心配するより、絶対に参加しなければと一通り練習に参加して帰宅した。そして、帰ってきて母にこっぴどく叱られた。家に火がつくことはなかったが火の粉が飛んできてビクビクもんだったらしい。思い出すとその時、まあまあ遠くに住んでいる親戚も飛んできてくれて家の中の箪笥やら布団やらとりあえず運び出していたのだ。その当時は、多分、箪笥にしろ布団にしろ、家族にとっ

# きおく画伯

第86回

描いた人 水野社長



キティちゃんをご存知か、何度も確認しましたが「分かっている」の一点張りで完成したのが①。その後、熟考しながら「犬だっけ…」と呟いて完成したのが②です。イヌ…?



て大きな財産だったのだろう。今ではプラスケースに衣服を入れ、布団もその当時に比べると気軽に購入できるようになっている。

今、持ち出すといつたら、何だろう。通帳や印鑑も無くなってしまふなんとかなるような(銀行さんに頼めば)気もするし、現金・貴金属は、ほとんど持っていないし。やはり、いのちなのだろう。

### にわか編集長コメント

関東大震災の火災を助長したのが、家から持ち出した家財一式らしいですね。火の粉が舞う中、容易に着火してしまうそうです。やはり持ち出すべきものは命のみですね。



第133回

## あの世もこの世も大変だ

今年のお盆は台風とセットでしたが、みなさんお健やかにお過ごしでしたでしょうか?

我が家は…というか私は「台風一週」まさにコレですね。

今春、母が亡くなった波紋はいろんなところにおきていて、義妹から「お義母さんの初盆になるから迷ってるんだけど、里帰りしたいと思ってる」と打ち明けられる。どうやら毎日寝食を共にしていた義妹の方がショックだったらしい。故郷の親のことが心配になったんだろうな。(あとからオットが調べたら、ベトナムの平均寿命は日本の

それよりだいぶ短いとのこと)

「いいよ、気にしないで行って来な! じいじのことは私引き受けるからさ。行ける時にいっとかないと後悔するよ」と送り出した私。オトコマエすぎ。

んが、が、ですよ。あまり物事を深く考えず脊髄反射で生きてるのが私のいいところであり、わるいところ…。

まず、帰省が2週間。この間の夕飯は仕事を終え、家に一度帰り必要なものをもって実家に移動してご飯を作つて食べる(オットと息子も遅れて実家集合)。うっかり父と話が弾もうもんなら、片付けから帰宅から翌日の準備から自分の就寝までのルーティンワークがぐぐぐっと遅くなり、疲労が抜けないまま翌朝の出勤…という地味に大変な毎日。いやー、習慣化してる時間割がズレるって、あんなにストレス感じるもんなんですね…

そして実父! 母一人子一人で(祖父は父が生まれた2か月後に他界)戦後の混乱期を乗り切り(まあ主に乗り切ったのは祖母だけ)、事業を興して育ててくれたのですが…時代といいましょうか、食卓にいる父は配膳が済むまで新聞を読んでるだけ…というのがベースで一切動かず。地域のことは祖母が、家庭のことは母が切り盛りしてた印象。

祖父のことはアルバム(祖父お手製)でしか見たことないけれど、「じいちゃん男前だったんだねえ」という私に、「見た目はよかったですよ」と真顔でノロケた祖母。職業軍人だったし、戦後すぐ他界しているのでおそらく夫婦としての年月は5年もなかつたのではなかろうか。柔和で綺麗な字を書く人だった祖父、その忘れ形見(残念ながら? 父は100パー祖母似。強かった祖母DNA)がカワイイ息子だったらそりゃ大事に育てもするかもね。

現在、帰宅後ピリピリしながら晩ご飯作る私を察して「あ、箸とお茶出しますね。お皿は何がいる?」とかいがいしくチョロチョロするウチの大黒柱をアゴで使う孫娘(私)を見たら、ばーさん卒倒するかも知れぬ。というか姑に謝れ、私。

まあ、それくらい「だいじだいじ」に育てられた箱入りムスコ。ゴミの出し方はわからない、洗濯の仕方もわからない、家のもののがどこになにがあるかわからない…にやんにやんにやんにやーん♪…迷子の迷子の子猫ちゃんか。それにしたって甘えさせすぎでしょ…ばーさん、母…。手のかかる73歳児。まじで。

私の息子たちはひととおりの家事を身につけてムコに出そと改めて強く決意した23年夏なのでした。

### にわか編集長コメント

一通りの家事を覚えるには一人暮らし一番かもですね。まあ僕は一人暮らし歴は無駄に長いですが、家事の自信は皆無ですね…。(むしろ実家のシャンとするかも)





第134回

## 芸能界の大谷翔平

今年も恒例の「24時間テレビ 愛は地球を救う」(日本テレビ系)の季節がやってくると反射的に「負けないで」や「サライ」のフレーズが脳内を駆け回る。この曲を思い出すたび、もう夏も終わりかと少々寂しい気分になつたりしたものだが、まだまだ残暑厳しい日々はしばらく続きそうだ。毎年、名物コーナーの「チャリティーマラソン」を一体誰が走るんだろうかと気にしている時期もあったが、ここ最近はまったく関心が無くなってしまった。ちなみに今回は60歳を間近に控えたヒロミ氏が挑戦するんだとか。この猛暑の中、100km以上の距離を延々と走り続けるのは危険ではないかとも思うが、間寛平さんをランナーとして始まったという企画もすでに30年以上経ち、一聴者としてはそろそろお腹いっぱい。形を変えるとか企画自体を変更するなどの岐路に立たされているような気もある。そんなわけで以前はよく見ていた24時間テレビからもだんだんと離れていたわけだが、いつもの癖でテレビのチャンネルをあちこち変えていたら、黄色のTシャツを着た芦田愛菜大先生を発見！なんと今年は「24時間テレビ」のチャリティーパーソナリティを務めているんだとか。今やCMからドラマ、映画、バラエティのMCまで務める大活躍の愛菜ちゃん。子役の頃からその演技には衝撃を受け、歌を歌えば大ヒット。「天才子役」であるだけでなく、「国民的アイドル」にもなったまさに芸能界の大谷翔平。芸能史上、極めてまれな存在であることは間違いない。

そもそも一人、クラスの優等生・東風谷葵(こちやあおい)役を演じている當真アミ。今後の物語の鍵を握る人物として俄然注目が高まってきた。最近、どこかで見たような気がすると思っていたら、NHK大河ドラマ『どうする家康』で主演の松本潤演じる徳川家康の長女・亀姫役が彼女だった。天真爛漫で明るく、勝ち気な役どころは今でも印象に残っている。今思えば、里奈が

「なんでもします」と宣言した後、真っ先に里奈の元を訪れたのが東風谷さんだった。通院していて授業には出られなかつたが、テストの点はちゃんと取つた。なのに掃き溜めクラスにいるのは納得できないようなことを里奈に直談判していたのが彼女だ。だが物語が進むにつれて、優等生だからといつても利用されていた問題児集団に対して真正面から協力はしないと断つたり、鶴久森さんの意見を堂々と押しすなど徐々に意識が変わっていく様子がみられた。ただこの心変わりにも実は深い理由があったわけで、俄然、東風谷さんがこの物語のキーパーソンとして急浮上してきたのだ。

タイムリープの事実と2回目の人生で「卒業式の悲劇を回避する」という目的を果たすため、心強い味方を得ながら一層生徒と向き合つていこうと覚悟を決めた里奈。生徒と向き合う中で、里奈の教師としての自覚の変化も感じられて頗もしい限りだが、実は生徒はもちろん、生徒以外にも怪しい人間がいるような気がしてならず、現状での犯人絞り込みは不可能に近い。特にネット上でも話題になっている職員室の奥に座る一人の男性。普通に考えれば職員室という場所から教師の一人ではあると思うが、毎回VRゴーグルのようなアイマスクのような何かを目元に装着してじっと座つてゐるのだ。教頭先生が挨拶をする際も一人だけ我関せずで座つたまま。この男、一体何者なのか。そして卒業式の悲劇は回避できるのか、里奈自身が“地獄”と語る2学期がいよいよスタート。

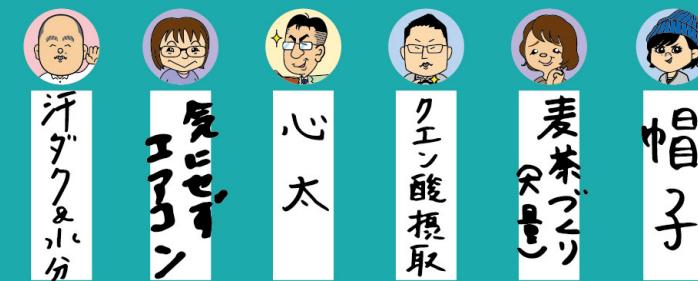
### にわか編集長コメント

Hulu解約なかなかふんぎりがつかないですね。特に日本のドラマ系とか古い邦画が充実していたりとアマプラとの違いもあるので。ただ、サブスクの無駄は抑えたいっすね。

レッツ  
コミュニケーション！

今月のお題

## 暑さ対策



## 一に日はく道

水野 順也

第133回

## 受注管理表を リニューアルします

リニューアルの目的は

- ①印刷受注を前提としたフレームになっていた
- ②個人のスケジュール等の管理がしにくかった
- ③それに伴い社内分配MQがワークフローに反映されていない等々の課題を解決するためです。

リニューアルにおいて一番のこだわりは“顧客が何を求めているのか？”をリーダーが意識して案件を進行できるようにしたいことです。①なぜ弊社に依頼していただいたのか？ ②その案件の目的・目標 ③どこまでがこの案件の範囲なのか？-----この3点を認識することがワークフローの最初のステップだと考えました。至極普通のことではありますが、普段の仕事の中で、ついでに無意識に“ただこなす”だけの作業に終始してしまいかがです。（全ての仕事がそうではないですが）“顧客が弊社に何を求めているのか？”を言い換えると“顧客が弊社に期待していること”となります。その期待に応えるために我々は何をしなければいけないのかを自ずと感じ、仕事への取り組み方として反映されるのではと感じました。

仕事は“時間の切り売りの作業代”ではなく

く、“能力のレンタル代”で相手の期待に応えることでの満足価値ではなかろうか？満足価値の要素である課題の解決、価格、納期の管理。それを進行する我々のモチベーションも大切です。個人や全体のPQ・MQ・H・M/Hも即座にわかるフレームシステムとしました。常に数字を意識して仕事が進められると良いと思います。前回の意見は修正しましたが、12月まではトライアル期間で慣れながら、修正もかけていきたいと思います。

### にわか編集長コメント

受注管理表の大幅なアップデートを期待しております！進化した受注管理表によって会社の現状を客観視でき、情報共有も促され僕らの動きが変わってきそうです。期待大です。



京都コーヒーショップ（三条北通）  
with 大河内・足立

今回は昭和の香り漂う昔ながらの喫茶店「京都コーヒーショップ」さんへ。ソファーもカウンターも見るからに年季が

入って味があります。天井を見れば模型飛行機があちこちに、さらに年代物の大きなスピーカーも並んでいます。ランチメニューはカレーライスやオムライス、ピラフにサンドウィッチなどのどれかを選べ、ドリンク、サラダ、デザートが付いたセットメニューを迷わずチョイス。私が選んだカレーライスはサラサラの



ルーにソースをかける、まさに家庭で味わう懐かしカレーでした。ただ、ゆで卵の殻が剥きづらいのがちょっと減点。コスパ的には大満足です。トヨタの豊田章男会長も訪れたという隠れた名店。今度は違うランチに挑戦です～。

(文・大河内)



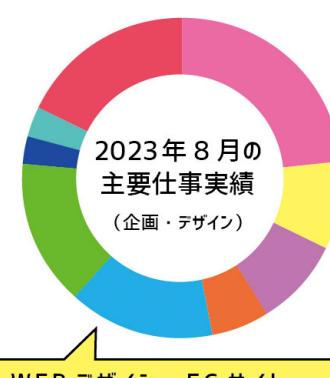
## にわか編集長 コメント

かき氷のボリュームと値段を見てビックリしましたが、3姉妹+いとこさんの豊川愛が込められているなら安いものですね！

今月の 八百万百景  
雨の普門寺

撮影者：山本兼佑

雨の日に訪れた豊橋の普門寺です。写真は弘法大師誕生会に参加した際の写真です。これから先は葉がだんだんと色づいてまさしく“もみじ寺”となるのでしょうか。



## 今月の

## にわか編集長

編集後記も持ち回り制!

うだるような暑い日々がようやく落ち着いてきたと思いきや、また暑くなったりと体調がイマイチ整わない今日この頃ですが、クエン酸は継続して摂取しております。ホント疲れにくくなるのでオススメです！

山本 兼佑